

色々な国や地域の物語を読んで、紹介しよう

小学校 3年 国語
「世界の物語を紹介しよう」
資料の活用・読書指導

ねらい

- 「はりねずみと金貨」の物語で、あらすじのまとめ方を学習する。
- 読書郵便で、友だちに自分で選んだ本のおもしろさを紹介する。

学習展開

- ① 世界地図で色々な国の位置や物語を確認して、読み聞かせやブックトークを聞き、興味をもつ。学習の見通しをもち、自分の学習課題をきめる。
- ② 「はりねずみと金貨」の物語で起こった出来事を場面ごとにまとめる。
- ③ 「はりねずみと金貨」の物語のおもしろさを伝える紹介文を書く。
- ④ 「はりねずみと金貨」で学んだあらすじのまとめ方をもとに、自分のおすすめの物語のあらすじをまとめて、読書郵便で友だちに紹介する。
- ⑤ 学習のまとめと振り返りをする。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、学校図書館に世界地図とお話の付箋を用意する。教室に児童分の物語を準備する。
- 司書教諭は、児童に紹介する国と物語を確認し、学級担任・学校司書と授業について打ち合わせをする。
- 司書教諭は、児童用ワークシートの用意をする。
- 司書教諭と学校司書は、継続的に授業に関わり、あらすじのまとめ方について困っている児童にアドバイスする。

学校図書館での導入



選んだ本を読む

★指導のポイント

- ◆ いつでも手に取って読めるよう、本を学級に貸し出す。
- ◆ 児童の実態に合わせて楽しく学べるように、読み聞かせやブックトークを行う。

資料

「三年峠」「へらない稲たば」(朝鮮)、「ふしぎなしろねずみ」「とらとほしがき」(韓国)、「銀のうでわ」「ほしになったりゅうのきば」(中国)、「星をもったひめ」(セルビア)、「はしれかぼちゃ」(ポルトガル)、「かもさんおとおり」(アメリカ)、「小さい魔女」(ドイツ)、「はなのすきなうし」(スペイン)、「ランパンパン」(インド)、「てぶくろ」(ウクライナ)、「きりのなかのはりねずみ」「金の魚」「マーシャとくま」(ロシア)